



～有害鳥獣による被害が出たら～

野生動物は基本的にとっても臆病で環境の変化に敏感です。できることから始めていきましょう。

4 捕獲

被害が減らない場合には、捕獲について検討しましょう

捕獲をする際は、実際に被害を引き起こしているイノシシを捕獲しないと被害は減りません。



捕獲の際の留意点

「ウリ坊だけ獲れた」「親イノシシは逃がした」ということになると、その親イノシシはワナへの警戒心が強くなり、ワナにかからなくなってしまいます。

イノシシ

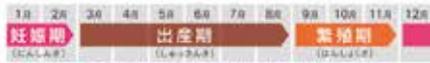
偶蹄類(ウシ目)イノシシ科

【体長】90～180cm

【体重】50～150kg

【食性】栗実、クズ、ヤマイモ、タケノコ、地下茎、ドングリ、カエル、昆虫

【繁殖】1頭あたり、年に4～6頭出産。9月から11月に繁殖するため、この時期は特にえづけSTOP!対策が効果的です。



※春に産産できなかった場合は秋に産産することがあります。



注意 「野生鳥獣は許可なく捕まえることはできません」

野生の鳥獣は「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」で保護されており、原則として捕獲が禁止されています。ただし、農林水産物への被害防止の目的(有害鳥獣捕獲)等、許可を受けた場合は捕獲することができます。捕獲についての詳細は、各広域本部(地域振興局)やお住いの市町村窓口にご相談ください。



※慣れていない人だけでイノシシなどを探査すると非常に危険ですのでやめましょう。

!! イノシシの生態・習性・対策

イノシシの体で電流を通すのは鼻だけです。



体は剛毛で、電気や有刺鉄線が当たっても平気です。



鼻先で70kgの物を持ち上げる力があります。



20cmの高さがあればくぐることができます。



イノシシのジャンプ力は助走なしで1mを飛び越えます。これぐらい強い強い!!!



作物をイノシシから見えないようにすることで被害を防ぎましょう。



近年、見ることのなかったイノシシが**住宅近くまで出てきている**！という声が多くなっています。

イノシシを見かけたときの初動の対策としては、「近づかない・刺激しない・避難する」ということが大事になります。

基本的にはイノシシは臆病な動物ですが、興奮したり、ケガをしていたり、子どもをつれている場合は、人を襲う場合があるので細心の注意が必要になります。

また、家庭菜園や畑などで出た**廃棄分の野菜などはイノシシなどの野生鳥獣にとっては最高の食材になりますので、放置しないようにしてください。**

知らないうちに**餌付け**をしている可能性があります。

～ジビエ協力隊からのお知らせ～

今後、「お肉の解体方法」や「料理方法」など狩猟初心者からベテランの人、また興味があるけど誰に聞いたらいいのか分からないという人まで、村民の皆さんが参加できるさまざまなイベントを計画していきたいと思います。開催時期は改めてご案内いたしますので興味のある人は事前に登録をお願いします。

鳥獣被害に関する質問・イベントの事前登録を募集中です。



こちらから受け付けています